

令和2年度 学校経営の基本方針

座間市立座間中学校
校長 梶 弘之

本校は、昭和22年より73年の道のりを地域とともに歩んできた学校です。開校より現在に至るまで家庭・地域社会との連携、協力によって、地域の中で共に育つ学校として充実・発展し、良き伝統が培われてきました。また、多くの教職員の教育にかける熱意と献身的な取り組みに支えられ、開校以来1万7千名余りの生徒を育んできました。

平成31年度から、平成10年に改定された学校教育目標『みつめよう今、育てよう未来 —「なぜ」から「なるほど」に歩もう—』を校訓として位置付け、「生きる力」の定着と「確かな学力」の向上を目指して取り組んでいます。また、座間市教育委員会が掲げる「豊かな心」の育成と日本人が誇る「礼儀正しさ」を身に付ける教育にも力を入れ、教職員が「チーム座間中」として一丸となって教育を推進しています。

本年度も、これまでの伝統を受け継ぎ、常に「開かれた学校」を念頭に、より一層地域社会や保護者から信頼される学校を築き上げるべく、学校経営を邁進していく所存です。

1 学校経営の基本理念

学校教育の目的は様々あるが、「一人一人が豊かな人生を送るとともに、社会で起こるあらゆる課題に立ち向かい、それを解決し、未来を切り拓いていくために必要な資質や能力の育成を目指す。」ことが根幹にあると考える。この実現のためには、多様性や創造性を養い、自分で考える力や物事を動かす力、また能動的に物事に取り組む力を育成することができる「活力のある学校」であることが必須である。

また、学校は、教職員の連携・協力と地域社会の支え、そして保護者からの理解・協力があってはじめて運営ができ、そこに生徒たちの主体的な活動が加わることで学びが成立すると考える。地域社会の支えや保護者からの理解・協力が得られるためには、「信頼される学校」が大前提であると考えます。

【活力のある学校】

- 生徒一人一人が生き生きと活動し、目標に向かって意欲的に生活している学校
- 教職員一人一人が情熱と意欲と愛情を持って教育を推進している学校
- 保護者の支援と協力が得られ、地域社会の教育力があふれている学校

【信頼される学校】

- 生徒一人一人が自律的・主体的に自己実現の図れる学校
- 教職員一人一人が自己の職責を自覚し、献身的に教育を推進している学校
- 保護者や地域社会の声に耳を傾ける開かれた学校

2 学校教育目標

【校訓】

みつめよう今、育てよう未来
—「なぜ」から「なるほど」へ歩もう—

【学校教育目標】

校訓を柱とし、次世代に求められている能力を見据え、生徒の実態や国・県・市の教育方針、また保護者や地域社会の願いを勘案しながら教育目標の設定を行った。

本目標は、「深い学び」をキーワードとした授業づくり、つまり「しっかりと物事を捉え、分析し、諸事象の関係性を認識するなかで、課題を解決すること」を中心に、教育課程を実施していくという思いが込められており、また、「豊かな心」や「創造性」を培うことで、この複雑な現代社会を力強く、時には優しさをもって生き抜いていける人を育てたいという願いも込められている。

深い学びによって豊かな心と創造性を培い、
未来を切り拓く志と思いやりにあふれた生徒を育成する。

3 目指す学校像

主体的・協働的な学びの中で、課題の発見や真理の探究が行われ、あらゆる場面で一人一人が成長を自覚できる学校

- 生徒の生きる力の醸成と確かな学力の向上を目指す学校
- 生徒が主体的に学校生活を送り、自己の成長を自覚できる学校
- 生徒が明るく心身ともに健康で、毎日の学校生活に充実感がもてる学校

4 目指す生徒像

自律愛他的で、豊かな人間性を育むことができる生徒

- 自ら考えて行動できる生徒
- 地域や自校を愛し、心豊かに助け合い尊重し合える生徒
- 規範意識を高く持ち、奉仕の精神を尊重することができる生徒

5 目指す教師像

創造性に富み、生徒とともに成長することができる教師

- 教育に情熱を傾け、生徒の人格を尊重することができる教師
- 向上心にあふれ、常に研修と研鑽に努めることができる教師
- 豊かな感性と豊かな教養を身に付け、人間愛に満ちている教師

6 教育活動の重点

(1) 確かな学力を育成する教育活動

- ①分かる授業を展開することによって、基本的な知識・技能を習得する。
- ②個々を大切にしながら、主体的・対話的な授業を展開することで、深い学びを実現する。
- ③活用・探究に通じる授業を展開することで、思考力・判断力・表現力を育成する。

(2) 豊かな心を育む教育活動

- ①主体的・対話的・自律的活動を充実させ、生きる力と創造力を育成する。
- ②道徳を要とし、各教科・総合・特活の横断的・重層的な活動を展開することで、前向きな人生観を醸成する。
- ③安定した生活を確立するとともに、生徒理解に立脚した指導・支援体制を構築する。

(3) 開かれた学校づくりによる教育活動の深化

- ①自立・共生・協働意識の涵養を通して充実した社会を築こうとする意欲を醸成する。
- ②地域の人材を活用することで、教育活動の視野を広げ、学ぶ目的意識を明確にする。
- ③環境・安全・健康について各専門機関との連携を図り、意欲的な活動を保障する。